

感染症情報 10月16日～22日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①咽頭結膜熱	705例(堺市	58例)
②溶連菌感染症	653例(堺市	67例)
③感染性胃腸炎	619例(堺市	91例)
④手足口病	87例(堺市	2例)
⑤ヘルパンギーナ	36例(堺市	3例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3,438例(堺市 469例)

報告数による順位である。前週比20.1%増の2,239件の報告であった。咽頭結膜熱が府下で17%増、定点当たり3.06→3.58であった。堺市で前回67例→今回58例。定点当たり3.53→3.05であった。溶連菌感染症が府下で41%増、堺市で前週51例→今回67例は31%増。感染性胃腸炎が府下で前週比13%増、堺市で前週68例→今回91例であった。手足口病が府下で18%増、堺市で前回7例→今回2例であった。ヘルパンギーナが府下で22%減、堺市で前回2例→3例であった。

インフルエンザが府下で前週比36%増、堺市で43%増であった。定点当たり大阪府は8.28→11.27になり、大阪府も堺市に1週間遅れて、注意報レベルである10を超えた。堺市は11.34→16.17に悪化した。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 771例(堺市 90例)
大阪府定点 2.53 堺市定点 3.10

0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
21	63	67	126	63	67	64	89	60	82	69	771

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週849例→今回771例は9%減、定点当たり2.77→2.53であった。堺市は前週102例→今回90例で12%減、定点当たり3.52→3.10であった。大阪府のブロック別では(悪い順で)4位になった。

麻疹や風疹の報告はなかった。